

令和4年度江東区学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

312 人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

マンション等の宅地開発や共働き家庭の増加などにより児童数の増加が続いており、特に小学校内クラブにおいてはスペースの確保が難しく、待機児童が発生している。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

待機児童が発生している小学校内クラブのスペースを確保し、定員増を図っていく。

(2) 具体策

待機児童が発生している小学校内クラブのスペースを確保するため、学校とのタイムシェアなどで、教室等を学童クラブの育成室として新たに使用できるよう小学校と協議していく。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

タイムシェアなどで教室等を育成室として使用することにより、定員増を図り、待機児童を減らすことができる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	23,656	24,309	24,658	25,103	25,402
増減	—	653	349	445	299
登録児童数	3,424	3,605	3,809	4,095	4,223
増減	—	181	204	286	128
待機児童数	68	74	132	303	312
増減	—	6	58	171	9

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	25,545	25,979	26,381	
増減	143	434	402	
登録児童数	4,366	4,694	4,888	
増減	143	328	194	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・江東きつずクラブ数矢・扇橋で1支援単位を新設	・江東きつずクラブ八名川・東陽・南陽・豊西・五大・四砂で1支援単位を新設 ・江東きつずクラブ越中島・東川・一大で既存支援単位の定員拡充	・江東きつずクラブ明治・元加賀・五砂・有明西で1支援単位を新設 ・江東きつずクラブ一亀・二大・二砂・東砂・北砂で既存支援単位の定員拡充	
待機児童数	313	146	0	
増減	1	▲ 167	▲ 146	
			▲ 312	